

グランプリ トヨタ自動車株式会社 企業広告 トヨタタイムズ

フジサンケイグループ広告大賞「メディアミックス部門 グランプリ」を、昨年に引き続いてトヨタタイムズがいただけたこと、大変光栄に存じます。

昨年、この賞をいただく連絡をいただいたのは2月上旬でした。そこから世の中はみるみる変わりました。

トヨタタイムズの基本は現地現物。香川編集長が、現場を訪れ、話を聞いて、はじめて記事がつかれます。栄えある賞をいただいたのに「現場に行くことができない。当面は編集長の出番はなくなってしまう…」。受賞の知らせをいただいた後、嬉しさと同時に、そんな気持ちになったことを覚えています。

しかし、香川編集長は、動けない中でも動き続けてくれました。緊急事態宣言下、“副業”である俳優のお仕事も少なくなっていたこともあり、リモートで世界中のトヨタの仲間たちにインタビューをしてくださいました。

それにより、なかなかニュースでも知る事のなかった南米やアジアなどの現地情報をトヨタタイムズで伝えていくことができました。

その後も、医療防護ガウンをつくる現場を取材するなど、コロナ禍だからこそ伝えられる内容をタイムリーにお届けすることができました。

年央になると、編集長のもうひとつの副業である“銀行員”のお仕事も忙しそうではありましたが（他系列の局の話題で申し訳ありません）、スケジュールの合間を縫って、感染防止を徹底しながらの現場取材にも行ってくださいました。

世の中が一変し、動けない状況になりながらも、香川編集長の機転の利いた活動により、情報発信を続けられたことが、トヨタタイムズの2年連続受賞に繋がったものと思います。動けない中でも動き続けていただいた香川編集長、本当にありがとうございました。

トヨタ自動車株式会社
取締役社長

豊田 章男

